

第（ 1 ）年 前期（4月～3月） 国語科の授業

国語科の目標・特性	<ul style="list-style-type: none"> ○人生・人間・世界について考え、よりよく生きる力を伸ばす。 ○言語に関するいろいろな力を方法として身につける。 ○言語に関するいろいろな活動を自覚的、総合的に体験する。 																		
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 関心・意欲・態度 国語と国語学習に対して、関心・意欲を持って取り組もうとしている。 話す・聞く能力 目的や場面に応じ、正しく豊かに話したり聞いたりすることができる。 書く能力 相手や 目的に応じ、正しく豊かに表現することができる。 読む能力 様々な文章を正しく豊かに読み取り、自分の考えを深めることができる。 知識・理解・技能 言語に関する知識や活動の仕方を理解し、身に付けている。 																		
授業内容単元構成	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">題材名（実施月）</th> <th style="text-align: center;">到達目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月 野原はうたう 虹の見える橋</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの詩から作者の思い・物の見方・感じ方を捉える。朗読をする。 ・心情を表す表現に気づく。人物の行動から気持ちに気づく。 </td> </tr> <tr> <td>5月 言語① 漢字① ・発見したことを伝えよう</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉について理解し、実践に役立てる。 ・漢字の組み立てと部首を理解し、実践に役立てる。 ・自分の考えをわかりやすく説明するための話題選び、スピーチのしかた、聞く姿勢を持つ。 </td> </tr> <tr> <td>6月 ちょっと立ち止まって クジラたちの声 文法① 漢字②</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・段落に着目して文章を読む。段落の関係を示す言葉に気づく。 ・問題提起とその答えの文章に着目し、文章構成をとらえる。 ・言葉の単位について理解する。 ・混同しやすい漢字について学習し、実践に役立てる・ </td> </tr> <tr> <td>7月 わかりやすく説明しよう 光と風からもらった贈り物 さつき</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・伝える目的・相手を明確にした情報集め。その整理。伝える工夫をする。 ・スピーチをする。 ・詩から言葉の豊かさ、自然や言葉に対する見方を広げる。 ・作品を楽しみ、自分の読書生活の幅を広げる。 </td> </tr> <tr> <td>9月 麦わら帽子 大人になれなかつた弟たちに 言語② 漢字③</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・画面毎の情景、言葉から様子・気持ち・心情の変化を捉える。 ・時代や状況の中で自分を見つめることの大切さを考える。 ・表現に着目し、登場人物の心情や作者の思いを読み取る。 ・漢語・和語・外来語を理解し、実践に役立てる。 ・漢字四字の熟語を知り、他の語彙を増やし、実践に役立てる。 </td> </tr> <tr> <td>10月 いろは歌 蓬萊の玉の枝 今に生きる言葉</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・仮名遣いに注意して音読し、古文の言葉の響きや調子に読み慣れる。 ・古典に対する興味や関心を持ち、現代とのつながりを考える。暗唱する。 ・漢文に対する興味や関心を持つ。故事成語について調べ物の見方考え方を理解する。 </td> </tr> <tr> <td>11月 漢字④ 未来をひらく微生物</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の音訓について学習し、実践に役立てる。 ・文章中で説明されている言葉の意味を正しくとらえ、微生物と環境との関係について理解を深める。・段落の役割に着目して文章の構成を読み取る。 </td> </tr> <tr> <td>12月 調べたことを正確</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活から具体的な課題を見つける。課題について調べ、正確にわかりやす </td> </tr> </tbody> </table>	題材名（実施月）	到達目標	4月 野原はうたう 虹の見える橋	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの詩から作者の思い・物の見方・感じ方を捉える。朗読をする。 ・心情を表す表現に気づく。人物の行動から気持ちに気づく。 	5月 言語① 漢字① ・発見したことを伝えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉について理解し、実践に役立てる。 ・漢字の組み立てと部首を理解し、実践に役立てる。 ・自分の考えをわかりやすく説明するための話題選び、スピーチのしかた、聞く姿勢を持つ。 	6月 ちょっと立ち止まって クジラたちの声 文法① 漢字②	<ul style="list-style-type: none"> ・段落に着目して文章を読む。段落の関係を示す言葉に気づく。 ・問題提起とその答えの文章に着目し、文章構成をとらえる。 ・言葉の単位について理解する。 ・混同しやすい漢字について学習し、実践に役立てる・ 	7月 わかりやすく説明しよう 光と風からもらった贈り物 さつき	<ul style="list-style-type: none"> ・伝える目的・相手を明確にした情報集め。その整理。伝える工夫をする。 ・スピーチをする。 ・詩から言葉の豊かさ、自然や言葉に対する見方を広げる。 ・作品を楽しみ、自分の読書生活の幅を広げる。 	9月 麦わら帽子 大人になれなかつた弟たちに 言語② 漢字③	<ul style="list-style-type: none"> ・画面毎の情景、言葉から様子・気持ち・心情の変化を捉える。 ・時代や状況の中で自分を見つめることの大切さを考える。 ・表現に着目し、登場人物の心情や作者の思いを読み取る。 ・漢語・和語・外来語を理解し、実践に役立てる。 ・漢字四字の熟語を知り、他の語彙を増やし、実践に役立てる。 	10月 いろは歌 蓬萊の玉の枝 今に生きる言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名遣いに注意して音読し、古文の言葉の響きや調子に読み慣れる。 ・古典に対する興味や関心を持ち、現代とのつながりを考える。暗唱する。 ・漢文に対する興味や関心を持つ。故事成語について調べ物の見方考え方を理解する。 	11月 漢字④ 未来をひらく微生物	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の音訓について学習し、実践に役立てる。 ・文章中で説明されている言葉の意味を正しくとらえ、微生物と環境との関係について理解を深める。・段落の役割に着目して文章の構成を読み取る。 	12月 調べたことを正確	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活から具体的な課題を見つける。課題について調べ、正確にわかりやす
題材名（実施月）	到達目標																		
4月 野原はうたう 虹の見える橋	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの詩から作者の思い・物の見方・感じ方を捉える。朗読をする。 ・心情を表す表現に気づく。人物の行動から気持ちに気づく。 																		
5月 言語① 漢字① ・発見したことを伝えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉について理解し、実践に役立てる。 ・漢字の組み立てと部首を理解し、実践に役立てる。 ・自分の考えをわかりやすく説明するための話題選び、スピーチのしかた、聞く姿勢を持つ。 																		
6月 ちょっと立ち止まって クジラたちの声 文法① 漢字②	<ul style="list-style-type: none"> ・段落に着目して文章を読む。段落の関係を示す言葉に気づく。 ・問題提起とその答えの文章に着目し、文章構成をとらえる。 ・言葉の単位について理解する。 ・混同しやすい漢字について学習し、実践に役立てる・ 																		
7月 わかりやすく説明しよう 光と風からもらった贈り物 さつき	<ul style="list-style-type: none"> ・伝える目的・相手を明確にした情報集め。その整理。伝える工夫をする。 ・スピーチをする。 ・詩から言葉の豊かさ、自然や言葉に対する見方を広げる。 ・作品を楽しみ、自分の読書生活の幅を広げる。 																		
9月 麦わら帽子 大人になれなかつた弟たちに 言語② 漢字③	<ul style="list-style-type: none"> ・画面毎の情景、言葉から様子・気持ち・心情の変化を捉える。 ・時代や状況の中で自分を見つめることの大切さを考える。 ・表現に着目し、登場人物の心情や作者の思いを読み取る。 ・漢語・和語・外来語を理解し、実践に役立てる。 ・漢字四字の熟語を知り、他の語彙を増やし、実践に役立てる。 																		
10月 いろは歌 蓬萊の玉の枝 今に生きる言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名遣いに注意して音読し、古文の言葉の響きや調子に読み慣れる。 ・古典に対する興味や関心を持ち、現代とのつながりを考える。暗唱する。 ・漢文に対する興味や関心を持つ。故事成語について調べ物の見方考え方を理解する。 																		
11月 漢字④ 未来をひらく微生物	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の音訓について学習し、実践に役立てる。 ・文章中で説明されている言葉の意味を正しくとらえ、微生物と環境との関係について理解を深める。・段落の役割に着目して文章の構成を読み取る。 																		
12月 調べたことを正確	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活から具体的な課題を見つける。課題について調べ、正確にわかりやす 																		

に伝えよう 文法② 漢字⑥ 江戸からのメッセージ 1月 少年の日の思い出 2月 体験を伝え合おう 文法③ 漢字⑥ 3月 言葉を探検する 胸の底と人と言葉たち 文法①②③	くまとめる方法を身につける。レポートを書く。 ・文の組み立てについて学習し、実践に役立てる。 ・辞典の活用に習熟する。 ・文章を読み、読書の世界を広げる。 ・作品の構成に注意して読み、登場人物の生き方について考える。 ・作品の展開を読み取りながら、登場人物の心情の移り変わりをとらえる。 ・自分の体験を明確に伝えるための材料集め、表現を考え文を作る。発表会を持つ。 ・指示語、接続語を理解し、実践に役立てる。 ・漢字の成り立ちを知り、実践に役立てる。 ・言葉について調べたい課題を見つけ、探求する。 ・人や言葉の出会いについて考える。 ・まとめをする。
学習に使用する教科書・副教材・道具・ファイルなど	教科書・ワーク・単元別漢字・漢字ノート・辞書

学習の前に

- ・自主勉強ノートを提出する。
- ・意味調べ等もできているのが望ましい。

授業中

- ・集中すること。
- ・ノートをとる。自分なりの書き込みのあるノートにしていく。
- ・自分の考えを書くときは、しっかり、一定量以上の文書く。(単語等で終わらない。)
- ・発表のチャンスをいかす。
- ・班、個人ともに班員、級友の意見を大切にす。

学習後

- ・ワーク等で授業の確認・理解を進める。さらに練習問題等も繰り返しやっておく。
- ・自分のノート作りを完成させる。併せて意味調べ等もやっておく。
- ・授業時間だけでなく、自分の知識、国語力を伸ばせる方法にチャレンジする。(読書等)

評価の仕方

- | | |
|--------|-----------------------|
| ・興味・関心 | 授業の姿勢、提出物 |
| ・聞く・話す | 発言・発表・話し合いの様子・聞き取りテスト |
| ・読む | 理解を中心として、定期考査 |
| ・書く | 書写、ノート、作文、感想文等・定期考査 |
| ・言葉 | 漢字テスト、文法、定期考査 |
- *あらゆる学習場面を対象とする。

先生からのメッセージ

- ・国語の学習は、日本語で書いてあれば、すべて対象と考えるべし。何にでも興味を持つこと。何にでも、自分の学習に結びつけることを心がける。
- ・読書を心がける。